

2013年
鳥取県 湯梨浜町勢要覧

ゆりはま

燦々 さんさん



- 04 天女が舞い降りるまち湯梨浜町
- 06 池畔の歴史を紐解く ～歴史・文化～
- 08 花鳥風月 ～湯梨浜をめぐる～
- 10 ふるさとの誇り ～特産品～

湯梨浜の未来

- 12 心豊かに、たくましく～生涯学習・教育編～
- 14 まちの未来を創造 ～まちづくり・産業・農林水産業編～
- 15 あふれる、まちの活力
- 16 安心して住みよいまち ～防災・環境・交通安全編～
- 18 笑顔いっぱい、支え合い ～子育て・地域福祉・住民参画編～
- 19 人を育むまちづくり

別冊 資料編

げんき・いきいき・かがやきのまち

豊かな自然、四季折々の美しい景観、
そして、温かい人情のあふれるまち、湯梨浜一。

このまちには、元気にいきいきと暮らす人々の笑顔と、
かがやきに満ちた未来が詰まっています。



天女が舞い降りるまち

湯梨浜町

湯梨浜町の中央部に位置する東郷湖は、周囲約12km、面積約4km²の汽水湖で、山陰八景の一つにも数えられる風光明媚な湖です。湖底からは温泉が湧き出ており、フナやシジミなどが採れるほか、多くの渡り鳥が飛来する場所でもあります。魅力あふれる資源が満載です。湯梨浜町では、この東郷湖をシンボルとしたさまざまな取り組みを推進しています。

天女のふる里づくり

湯梨浜町では、東郷湖周辺の地域資源を活用し、より魅力あるまちづくりを進めるため「東郷湖・未来創造会議」を設立。社会資本整備、観光分野、イベント開発など、町民や各関係団体の代表で編成されるワーキングチームが協働し、町の未来へ向けた取り組みなどについて検討しました。

そして、新たなまちづくりの視点を、町内地域に古くから伝わる「羽衣天女伝説」に向け「天女のふる里づくり事業」として東郷湖の魅力を最大限に生かす取り組みを展開。「天女もほれたリゾート地」「女性が主人公になるリゾート地」を目指し、天女をシンボルとしたまちづくりを行っています。

湯梨浜町天女キャラクター



© 湯梨浜町

羽衣天女伝説

羽衣石山に降臨した天女が羽衣を脱いで水浴びをしていたところ、その様子を見ていた男が、羽衣を隠してしまいました。天女は仕方なくその男と結婚し、2人の子どもを授かります。しかしある日、天女はついに羽衣の在りかを探しだし、その羽衣を羽織ると、夫と子どもを残したまま天界へと去ってしまいました。



天女が羽衣を掛けたとされる大石

東郷湖周辺のイベント・施設



ホワイトトライアスロン in 湯梨浜



出雲山からの眺望



東郷湖畔公園



東郷浪人踊



水郷祭



ノルディック・ウォーク



倭文神社

社名は創建当時に当地の主産業であった倭文（しずおり）の織物に由来しており、広く安産の神として信仰されています。1915（大正4）年には、隣接する山林から経塚が発掘され、国の史跡に指定されています。また、この時出土した銅経筒は国宝に指定されており、他の出土品とともに東京国立博物館に展示されています。



銅経筒

伯耆一ノ宮経塚から出土した銅経筒。1103（康和5）年に埋納されたもので、国宝に指定されています。

小浜の銅鐸

小浜地区で発見された銅鐸で、流水紋と呼ばれる美しい模様を持っています。2本の舌（振り子）を伴って出土した全国唯一の銅鐸です。



長瀬高浜遺跡から出土した埴輪。ほぼ完全な形で復元されている貴重な資料です。

長瀬高浜1号墳

弥生時代から中世にかけての巨大複合遺跡「長瀬高浜遺跡」から発見された円墳です。墳丘の中央にある石棺からは、ほぼ完全な形をした推定30歳前後の成年女性の遺骨と、副葬品の鉄刀が見つかりました。現在は、遺跡の南東側に移転復元されています。



伯耆国河村郡東郷荘下地中分絵図（模写本） 東京大学史料編纂所蔵

池畔の歴史を紐解く

さかのぼること約750年前、時は鎌倉時代中期

— いったい、これは何のために描かれたのか？ —

絵図は支配地域を

明確にするため描かれた

この絵図は、正嘉2年（1258）、「伯耆国東郷荘」の領有権をめぐって対立していた領家と地頭の支配地域を明確にするために作成されました。領家と地頭の両者が、鎌倉幕府の法廷でその支配地を折半することで、和解し、下地中分を行ったことを示しています。絵図の境界を示す朱線の両脇には、当時の鎌倉幕府で執権を務めていた北条長時とその補佐役の連署を務めていた北条政村の花押が据えられています。絵図に示されている地名や自然景観は、現在も当時とほぼ変わらぬままに残っています。

《下地中分》

田畑・山林・原野・河川など、地域の中で収益の対象となる土地を荘園領主と地頭の間で分割。それぞれの領分について互いに完全支配を認めることを指します。

《執権と連署》

いずれも鎌倉幕府の職名。執権は將軍（鎌倉殿）を補佐し、政務を統括する職です。連署は、執権を補佐し政務を行う職で、幕府発給の文書に執権とともに署判を加えたことから連署といわれました。



別所・国信地域

「にほんの里 100 選」に選ばれた。集落と周辺の里山に、手入れの行き届いた梨園が広がり、土蔵や生け垣などを備える落ち着いた家並みが山沿いに続く。

宇野地蔵ダキ

宇野地区にある自然流下の滝水で「平成の名水百選」に指定されている山陰名水の一つ。



石脇海水浴場

「快水浴場百選（2006 環境省選定）」に選ばれた海水浴場。踏むと音のする「鳴り砂」のビーチとしても有名。



花鳥
風月

～湯梨浜をめぐる～

①はわい温泉

②四ツ手網



①湖上に浮かぶようにたたずむ温泉郷。温泉に浸かりながら、四季折々に美しい風景を楽しむ。②東郷池に伝わる独特の仕掛け網。現在は観光用として残され、東郷池の風物詩の一つとなっている。③スポーツやレジャーを楽しむ観光スポット。「グラウンド・ゴルフ発祥地大会」では、全国各地から大勢の参加者でにぎわう。④国内最大級の中国庭園。中国雑技や獅子舞など、中国の伝統文化を見学できる。

④中国庭園燕趙園



③潮風の丘とまり





ピオーネ

町内砂丘地でハウス栽培される種なし高級ブドウ。粒が大きく甘みも強い。



クレオパトラ

6月が旬の色鮮やかな大玉メロン。香り高くまろやかで、ジューシーな食感が特徴。



シジミ

大粒で味や色艶も良く「黒いダイヤ」と称される特産品。「まちの魚介類」にも指定されている。



野花豊後

果実は大きいもので直径5cmほどにもなる肉厚の梅。3月中旬ごろから薄いピンク色の花が梅園を彩る。

とまり漬け

小玉スイカをまるごと漬けた漬物。しょうゆのたまり漬けと粕漬けがあり、さっぱりとした風味と食感が癖になる逸品。



農林水産業をはじめ、観光業などの業種と連携しながら商品ブランドの育成を行い、湯梨浜ブランドの形成と定着を図っています。



町特産加工品の詰め合わせ「湯梨浜の四季」



特産「湯梨浜の四季」作業中の様子

二十世紀梨

二十世紀梨は、明治時代から生産が始まった鳥取県を代表する果物です。特に湯梨浜町の二十世紀梨は、気候や風土に恵まれ、甘みと酸味のバランスが良く、日本一と称賛されています。初出荷の際には、選果場で出荷を祝う式典が開かれ、大勢の人でにぎわいます。また、初秋には町内の観光農園で梨狩りが楽しめるほか、4月上旬から中旬にかけては、山々を白く染める梨の花が見ごろを迎えます。

自然と伝統がおりなす

ふるさとの誇り

湯梨浜の郷土が育んだ特産の数々。みな、活力に満ちた生産者によって生み出されたまちの至宝です。

あきひめ

口当たりがよく、果肉は艶やかな赤い実。酸味が少なく、甘味のちょうどよいイチゴ。



料理自慢 (しょうゆ)

土地の気候と風土が育んだふるさとの味で、風味豊かなコクと香りが自慢の一品。



山陰東郷 (地酒)

厳選された米と水を使用し、丹精込めて作られた酒。辛口で飽きのこないすっきりとした口当たり。

岩ガキ

栄養価の高い貴重な水産物。県漁協のブランドで販売される「まちの魚介類」。





中学校の授業風景

町内には、小学校が3校、中学校が2校あるほか、鳥取県中部地区唯一の中高一貫校である湯梨浜学園があります。

学校教育の充実

町内の小中学校では「確かな学力」や「生きる力」を育むために少人数学級を実施し、一人一人に応じたきめ細やかな指導を行っています。さらに、家庭や地域と連携しながら、地域の特性を生か

した自然体験やボランティア活動、命の大切さを育む体験学習に取り組んでいるほか、子どもたちが安心安全で学べる教育環境整備に力を入れています。

心豊かに、たくましく



グラウンド・ゴルフ発祥の地

グラウンド・ゴルフは、旧泊村で考案されました。高度な技術は必要なく、ルールも簡単であることから、だれでも手軽に楽しめるスポーツです。本町では、競技を通じた友好と親睦の輪を広げるため、全国各地から愛好者を迎え、毎年「グラウンド・ゴルフ発祥地大会」を開催しています。

スポーツ活動の推進

生涯スポーツは、健康の保持増進や体力向上、地域社会の形成などの観点からも重要な役割を果たしています。本町では、各種スポーツ大会の開催や、スポーツに親しみやすい環境づくりに努め、町民の生涯スポーツの定着を目指しています。



全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会

日本各地から40歳以上のベテラン男女が参加し、団体の部・個人の部で熱戦を繰り広げます。

人権教育の推進

学校教育のあらゆる場を活用しながら、子どもの発達段階や年齢に応じた人権・同和教育の充実を図っています。

また、各地域で座談会を開催するなど、学習や啓発活動を通じて正しい認識と理解を深め、一人一人の人権が尊重されるまちづくりの実現を目指しています。



町人権推進大会

男女共同参画社会の実現

男女共同参画の推進と意識高揚を図るため、学校教育や社会教育を含むあらゆる場で啓発を進め、各種団体の学習活動の支援や交流の促進に努めています。

青少年の健全育成

近年、人間関係の希薄化や、インターネットや携帯電話の有害サイトの氾濫など、青少年の健全育成を阻害する問題が増加しています。

講習会や異年代との交流の場を提供し、家庭や地域、学校と連携しながら、青少年の自主性や社会性の養成に取り組んでいます。

生涯学習環境の充実

本町では、中央公民館や地区公民館を拠点に各種サークル活動や学習講座を行っています。また、文化団体活動の成果発表の場として芸能大会などを開催し、町民がより広く文化活動に参加できる機会を設けています。



町立図書館

図書館の役割

利用者の多様なニーズに対応した最新の資料・情報をより多くの人に提供する上で重要な役割を担っており、地域の歴史や文化などに関する資料が多数所蔵されています。

あふれる、まちの活力



地産地消フェアゆりはま市

町内農水産物や加工品などが販売され、大いににぎわいます。

農林水産業

後継者や新規就業者確保のための施策を積極的に展開しているほか、地産地消と付加価値の造成にも努めています。

ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会
日本選手権予選会なども兼ねる大会で、多くの参加者が、東郷池と池周回コースでスイム・バイク・ランの戦いを繰り広げます。



商工業

中小企業経営の近代化や安定化を図るための融資制度を充実し、事業拡大や新規事業への支援体制を確立しています。
また、特産品の開発や販路拡大の支援も行っています。



とまり夏まつり

観光業

温泉や歴史文化などの地域資源を生かした魅力向上を図っているほか、人とのふれあいを大切にした観光地づくりや環境整備に努めています。

したてるひめのみこと
下照姫命から
あなたへ贈る
貴女へ贈る

かほり袋

古くから安産の神として信仰される下照姫命が祭られる倭文神社。ここでは、神社参拝を楽しむためのアイテムとして「かほり袋」が販売されており、女子カアップの Powerspot となっています。

まちの未来を創造



東郷湖羽合臨海公園

快適な都市空間

すべての人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくりを目指すとともに、暮らしに安心と快適をもたらすまちづくりを推進しています。

情報通信環境整備

町では、光ファイバーによるデータ通信ネットワークを構築し、情報の共有化を図るなど、町民ニーズへの対応や住民サービスの充実を目指しています。
また、全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用し、大規模災害などについて「早く・正確な」情報伝達の実施に努めています。



バリアフリー化

誰もが安全に生活できる環境づくりを推進し、公共施設や公共空間のバリアフリー化に努めています。



さくら工芸品工房

旧小学校跡地を利用した工芸品工房。染織や陶芸などが体験できるほか、カフェルームでゆったりと過ごすこともできます。



公共施設跡地利用

統廃合後の学校跡地施設などを利用し、企業誘致による農業施設や、放課後児童クラブの活動拠点などとして活用しています。

安心で住みよいまち



交通安全の啓発

交通安全協会などの関係団体や地域団体との連携を強化し、交通安全教育による町民の安全意識高揚を図ります。
また、通学路や住宅地などの幅員の狭い交通箇所には、カーブミラーや道路照明の整備と充実を図ります。

事故なしキャンペーン

特産である二十世紀梨を配布し、交通安全を呼びかけています。



町総合防災訓練の様子

防災体制の確立

2011（平成23）年に発生した東日本大震災をはじめ、鳥取県内においても2000（平成12）年に鳥取県西部地震が発生。台風や集中豪雨などの風水害も拡大し、防災上のさまざまな教訓を残しました。

町では、地域防災計画を策定し、



災害に強いまちづくりを目指し住民避難訓練などの取り組みを通じて一人一人の防災意識強化を図っています。また、自主防災組織育成や地域との協力体制を確立するとともに、火災予防や各医療機関と連携した救急活動の充実にも力を入れています。

河川・水道の整備

災害時に危険度が高い河川などの治水対策を推進しているほか、水辺が持つ景観やレクリエーション機能を考慮した潤い豊かな親水空間の創出を図ります。

また、家庭への安定した給水はもちろん、水道管の漏水や破裂防止のため、老朽管の計画的な行進を進めます。



景観資源の保全

町内の海や山などの美しい自然は、かけがえのない財産であり、町活性化のための重要な資源でもあります。

これら豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、アダプトプログラムなどの環境ボランティア活動を支援しているほか、家庭から排出されるごみの減量化や資源リサイクルを推進しています。



アダプトプログラム

アダプト（adopt）とは、英語で「養子にする」という意味で、住民が担当区域を決めて環境美化活動を行い、わが子のように守り育てる取り組みです。

環境負荷の低減

町では、公害対策のために電気自動車を導入しているほか、町内におけるごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策に取り組んでいます。



人を育むまぢづくり



住民満足度の高いまぢづくりを進めるためには、町政への住民参画が不可欠です。町では、地域住民が直接参加できる機会を拡充するとともに、意見箱などによる意見収集など、行政への住民参画を進めています。

住民参画の推進



ハワイアンフェスティバルハワイ in ゆりはま
全国のフラダンス愛好家や本場ハワイアンアーティストが一堂に会する祭典。フラダンスや料理教室などを楽しみながらハワイ文化に触れることができます。

子育て応援

平成24年度に就学前教育と保育を一体として捉えた総合的施設として「はわいこども園」を開園。これに伴い、全ての町立保育所・幼稚園で幼保一体化をスタートさせたほか、自園調理方式を導入し、積極的に食育と地産地消に努めています。

また、低保育料や保育時間の延長など、保護者のニーズに応じたサービスの提供およびその向上に努めています。そのほか、子育て支援センターの設置により、保護者が抱える悩みや不安の解消、保護者同士の交流を広げる取り組みも行っています。



赤ちゃん登校日の様子

笑顔いっぱい、支え合い

保健・医療の充実

健康診断や各種がん検診、予防対策などを充実し、健康づくりの推進に努めています。また、隣接市町や関係医療機関との連携強化を図り、広域的な救急医療体制の確立を進めています。

地域福祉の推進

障がい福祉計画や地域福祉計画を策定し、要支援者を地域全体で支えるための啓発活動および生活支援などの充実を図っています。また、関係機関と連携し、福祉サービス利用者の支援やサービスの向上に努めています。



ノルディック・ウォーク

町では、自然豊かな景観と健康増進の観点からウォーキングを推進し、コースの整備やマップの作成などに取り組んでいます。町内ではウォーキング大会が多く開催されており、ウォーカーを飽きさせない魅力ある風景が人気を呼んでいます。

多様な交流の推進

国内外の地域交流の輪を広げ、対話や文化などの交流により、人と地域をつなぐに理解を深める環境づくりを行っています。特に、姉妹提携都市であるハワイ州

ハワイ郡との相互交流を促進しており、毎年フラダンスをテーマにした一大イベントなどを開催しています。

コミュニティー

活動の促進

近年、少子高齢化や一人暮らし世帯の増加による住民相互の連帯感やつながりの希薄化が進んでいます。これらを解消していくために、自治会やボランティア団体などの活動

や公民館活動の支援を行い、地域力の向上を目指しています。



町章

湯梨浜町の頭文字「Y」をモチーフに、青と緑と白で豊かな自然を表現。大空に羽ばたく翼をイメージし、自然・人・産業が共生する町の団結、友愛、飛躍発展と、明るい未来を表現しています。



町の花 トウテイラン

環境省の絶滅危惧種に指定されている植物で、県内では湯梨浜町のみで自生しています。将来にわたり保護していきたいという思いから、町花に選定されました。



町の木 梨の木

春には美しい白色の花が咲き乱れ、9月ごろには大きな実が熟します。湯梨浜町は二十世紀梨の産地として日本一有名で、町の木としてふさわしいことから、町木に選定されました。



町の鳥 サンコウチョウ

夏に町内の森林に渡ってくる、目の周りとかちばしがコバルトブルーの美しい鳥です。鳴き声が「ツキ、ヒー、ホシ、ホイ、ホイ、ホイ」と聞こえることから三光鳥と名づけられたといわれています。

写真提供 細谷賢明氏（鳥取市）



町の魚介類 しじみ

東郷池で採れるシジミは粒が大きく、その色艶から「黒いダイヤ」と呼ばれています。



町の魚介類 岩ガキ

町内の海岸で採れる天然の岩ガキは、ビタミン類が豊富で、海のミルクと呼ばれて人気を集めています。



鳥取県 2013 湯梨浜町勢要覧

発行/湯梨浜町役場企画課

〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町久留 19-1

TEL 0858-35-3111

制作/㈱マルカゲ印刷

〒682-0721 鳥取県東伯郡湯梨浜町田後 69-6

TEL 0858-35-4391